

VACUUM TUBE CONTROL AMPLIFIER

CL-88

入力感度/入力インピーダンス	100mV / 90kΩ
出力/ 出力インピーダンス	1V / 1kΩ
全高調波歪率	1kHz (定格) 0.013%
周波数特性	5Hz ~ 100kHz +0, -3dB
S/N比	1kHz (IHF-A) 93dB以上
入力	コアキシャル 4系統
出力	コアキシャル 1系統
付属装置	電源スイッチ、電源インジケーター、インプットセレクター、ボリューム タッチミュート、ミュートインジケーター、ラインフェーズセンサー 信号グランド端子、ACインレット
使用真空管	ECC83S / ECC82
回路方式	2段増幅NFタイプ
音質パート	金メッキ4N無酸素銅単線、ビタミンQオイル含浸チューブラ型コンデンサー フィルム型ブロックコンデンサー、金メッキタイトソケット 窒素ガス封入金接点リレー、高精度アルティメートボリューム 15mm厚アルミトップパネル使用の免震構造
消費電力	12W
最大外形寸法	255 (幅) x 95 (高さ) x 387 (奥行き) mm
重量	8.6kg



VACUUM TUBE POWER AMPLIFIER

MQ-88

定格出力	40W + 40W (8Ω), 50W + 50W (6Ω), 40W + 40W (4Ω)
入力感度/入力インピーダンス	420mV / 100kΩ
全高調波歪率	1kHz (定格) 1.5%
周波数特性	5Hz ~ 90kHz +0, -3dB
S/N比	1kHz (IHF-A) 101dB以上
入力	コアキシャル 2系統(うちダイレクト入力1系統)
出力	スピーカー端子 1系統
付属装置	電源スイッチ、電源インジケーター、入力レベル調整ボリューム バイアス電流調整ボリューム×4、バイアス監視メーター ラインフェーズセンサー、信号グランド端子、ACインレット
使用真空管	出力管: KT88×4本、初段:ECC83S×2本、ドライバ一段:12BH7A×2本
回路方式	ムードタイプ
音質パート	金メッキ4N無酸素銅単線、ビタミンQオイル含浸チューブラ型コンデンサー 金メッキタイトソケット、15mm厚アルミトップパネル使用の免震構造
消費電力	190W (電気用品安全法)
最大外形寸法	400 (幅) x 186 (高さ) x 397 (奥行き) mm
重量	25.1kg

VACUUM TUBE PHONO AMPLIFIER

EQ-88

・CL-88のサイドに設置可能なMM型カートリッジ対応真空管小型フォノイコライザーアンプ	
・電源は添付の専用ケーブルにてCL-88から供給	
入力感度/入力インピーダンス	1.5mV / 47kΩ
出力/ 出力インピーダンス	150mV / 600Ω
入力	コアキシャル 1系統
出力	コアキシャル 1系統
付属装置	電源インジケーター、信号グランド端子、電源入力端子、ACインレット
使用真空管	ECC83S ×3本
回路方式	3段増幅NFタイプ
最大外形寸法	110 (幅) x 102 (高さ) x 315 (奥行き) mm
重量	2.2kg

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

LUXMAN

VACUUM TUBE CONTROL AMPLIFIER

CL-88

VACUUM TUBE POWER AMPLIFIER

MQ-88

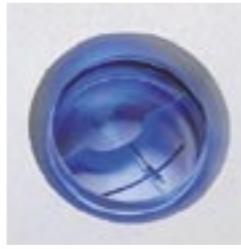
VACUUM TUBE PHONO AMPLIFIER

EQ-88



■ ムラード型回路でKT88をドライブ

パワー・アンプ MQ-88では、真空管のチョイスにもあらゆる面から吟味を重ねました。初段のECC83SにはスロバキアのJJ製を、ドライバー段の12BH7Aと出力管のKT88にはロシアのソブテック製をそれぞれ選択。品質・音質に定評があり、長期間の安定供給が見込める銘柄を採用しています。回路方式は、柔らかさと力強さの両立を目指してカソード直結方式、いわゆるムラード型を採用。差動構成のドライバー段によって初段で発生した2次歪みが打ち消され、出力管KT88のバランス動作のバランスも安定するという点に特徴があります。また出力トランジスタには、ワイドレンジ特性とダイナミックなサウンドで人気を誇ったOY36と同等サイズのものを専用設計しました。オリエンタルコア材を使用したトランジスタは厳重なシールドボックスに収められ、ノイズ対策も万全です。



■ 監視メーター付きバイアス調整機能

ブルーLEDを組み合わせ、視認性を確保したバイアス電流調節用メーターをトップパネルに装備しました。4本のKT88を常に最良のコンディションに保てるよう、半固定ボリュームには安定性と信頼性を重視して巻き線型の密閉構造タイプを採用しています。



■ 高精度アルティメートボリューム+タッチミュート機能

プリアンプの音質を左右する重要なパーツのひとつが、ボリュームです。ラックスマンは長年その音質のみならず、精度や操作フィーリングにもこだわってきましたが、CL-88では高精度アルティメートボリュームを採用しました。操作性については、タッチミュート機能を内蔵。ボリュームノブの中央に触ることで音声のミューティングが瞬時に可能です。



■ 専用の真空管フォノアンプ EQ-88を接続可能

ラインレベル専用に特化した設計のCL-88には、アナログ愛好家のために別売のコンパクトで高品質な専用真空管フォノアンプ EQ-88を用意しています。電源は背面に装備されたノットリック製コネクターによりワンタッチで供給される仕様となっています。※ EQ-88は単独で動作させるための電源ユニットも近日発売予定です。詳しくは弊社営業部までお問い合わせ下さい。

Re Entry ～11年の静寂から覚めて

Re Union ～再び密なる新次元へ

VACUUM TUBE POWER AMPLIFIER

MQ-88

私たちラックスマンには、日本国内において最も長きに渡って真空管アンプの可能性を追求してきたメーカーという自負があります。オーディオアンプのメインストリームが半導体に置き換わってからも、真空管が持つリニアリティの高さ、帯域の広さを十二分に活かした設計と物づくりを進めてきました。その最新の成果と変わらぬ情熱を、11年ぶりに満を持して発表するセパレート型真空管アンプ、CL-88/MQ-88に注ぎました。



※実際の商品は、安全のため真空管カバーが取付けられた状態で出荷されます。



■ 吟味された高品位/高音質パーツ

付帯機能を削ぎ落とし、信号の高忠実増幅を目指したCL-88/MQ-88。それだけに、使用するパーツはおそらくできません。まず信号線には、理想的な絶縁材料であるフッ素樹脂絶縁被覆を持つ金メッキ4N無酸素銅の単線を採用。芯のあるサウンドと長期間に渡る安定した特性を実現しています。CRパーツ類には、ビタミンQオイル含浸チューブラ型コンデンサーや理研電工製オーディオ用炭素皮膜抵抗など、定評のある部品を多用しました。この他にも、金メッキタイトソケットや超高絶縁ラグ端子板など、数多くの高品位カスタムパーツを惜しみなく投入しています。

■ ブルーLEDによるイルミネーション

製品の品格を表現し、なかなかオーナーの至福の時間を作り出す一助として、ボリュームやメーター、シャーシ下部に、ブルーLEDによるエレガントで落ち着いたイルミネーションを配しました。

■ 剛性を徹底追求したシャーシ構造

真空のガラス管の中を電子が飛び交う真空管にとって、外部からの振動や共振は大敵です。CL-88/MQ-88では、トップパネルに15mmという超極厚のアルミ無垢板を採用してリジットな基礎をまず確保したうえで、コントロールアンプ・パワー・アンプそれぞれに適した構造を多角的に分析しました。CL-88では従来の箱型の筐体を見直し、トップパネル裏側に重量物を取り付けた吊り下げ方式を採用。メインシャーシとトップパネルの間にコバー・系統衝材を挿入し、剛性の高い柱(さん)で微小振動を制振するようなフレームワーク構造を採用しました。一方のMQ-88は、面と柱が一体となった免震構造にてトランジスタ等の重量物を支持。なおかつその柱に脚部を直接取付けることで、筐体の重みも排除。既成の箱型部分はこの構造の梁(はり)として作用し、筐体全体の水平強度を高めることに貢献しています。両モデルの脚部に使用したPIEZON複合インシュレーターは、無垢の真鍮にダンピング材(圧電型吸音材料)を組み合わせた、ハード系/ソフト系双方のよさを持ち合わせた構造。アンプ筐体をしっかりと支えながら、振動や共振を遮断しています。PIEZONはタイテックスジャパンの開発した制振材料です。

